

役員 2018年7月1日現在

■取締役

取締役会長 丹呉 泰健  
 代表取締役社長 寺島 正道  
 代表取締役副社長 岩井 睦雄  
 代表取締役副社長 見浪 直博  
 代表取締役副社長 廣渡 清米  
 取締役 幸田 真音\*  
 取締役 渡邊 光一郎\*

\*取締役 幸田 真音および渡邊 光一郎は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です

■監査役

常勤監査役 永田 亮子  
 常勤監査役 湖島 知高  
 監査役 今井 義典\*  
 監査役 大林 宏\*

\*監査役 今井 義典および大林 宏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です

■執行役員

社長 (最高経営責任者)  
 副社長 (たばこ事業本部長)  
 副社長 (最高財務責任者、コミュニケーション担当)  
 副社長 (コンプライアンス・総務・法務・企画・IT・CSR・人事・監査担当)  
 専務執行役員 (コンプライアンス・総務担当)  
 専務執行役員 (たばこ事業本部 国内たばこ事業プレジデント)  
 常務執行役員 (たばこ事業本部 中国事業本部長)  
 常務執行役員 (たばこ事業本部 マーケティング&セールス責任者)  
 執行役員 (たばこ事業本部 渉外企画室長)  
 執行役員 (たばこ事業本部 R&D責任者)  
 執行役員 (たばこ事業本部 製造責任者)  
 執行役員 (たばこ事業本部 原料責任者)  
 執行役員 (たばこ事業本部 品質保証責任者)  
 執行役員 (医薬事業部長)  
 執行役員 (医薬事業部 医薬総合研究所長)  
 執行役員 (法務担当)  
 執行役員 (企画・IT担当)  
 執行役員 (ビジネスディベロップメント担当)  
 執行役員 (コミュニケーション担当)  
 執行役員 (総務担当)  
 執行役員 (CSR担当)  
 執行役員 (人事担当)

寺島 正道  
 岩井 睦雄  
 見浪 直博  
 廣渡 清米  
 千々岩良二  
 佐々木治道  
 山下 和人  
 前田 四郎治  
 福地 淳一  
 柴山 武久  
 大友 平和  
 小倉 健實  
 伊熊 浩之  
 藤本 宗明  
 大川 滋紀  
 山田 晴彦  
 前田 勇気  
 筒井 岳彦  
 中野 恵  
 菊池 孝徳  
 小川 千種  
 森 功一

株主・投資家の皆さまへ  
**業績報告書**

vol.61



株価の推移 1994年10月27日上場～2018年7月 当社株価（東証終値、月間）



\*2006年4月1日を効力発生日として1株につき5株の割合、また、2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。株価は調整後株価を示しています

日本たばこ産業株式会社

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル  
 TEL 03-3582-3111 <https://www.jti.co.jp/>

2018年度 第2四半期決算報告

JT NEWS

ひとの  
 ときを、  
 想う。 JT

# 上期は堅調な実績 通期の目標に向け順調に進捗



代表取締役社長

寺島正道

## 2018年度 第2四半期実績

主に海外たばこ事業における好調なパフォーマンスが牽引し、国内たばこ事業が引き続き厳しい状況の中でも、全社利益指標である「為替一定ベース調整後営業利益」は、前年同期比3.1%の成長となりました。

為替影響を含む財務報告ベースでは、売上収益は、海外たばこ事業における買収効果およびプライシングによるトップライン成長が、国内たばこ事業の減収を上回ったことにより増収となりました。また、調整後営業利益は、為替はネガティブに作用したものの増収となりました。

一方、営業利益・四半期利益については、前年に発生した減損損失戻入益がなくなったこと、および買収に係る商標権償却費の増加等により、それぞれ前年同期比3.5%、4.2%の減収となりました。

海外たばこ事業については、インドネシア・エチオピア・フィリピンにおける買収効果により、総販売数量は前年同期比6.4%増となりました。買収効果および流通在庫調整によるマイナス影響を除いた総販売数量は前年同期比1.3%の減少となりました。GFB\*販売数量については、複数の主要市場における数量増を背景に、前年同期比1.8%増となりました。

ドルベース・為替一定ベースでは、複数市場における単価上昇効果、数量増加および為替影響がプラスに作用したことにより、自社たばこ製品売上収益、調整後営業利益は、それぞれ前年同期比8.9%の増収、13.2%の増益となりました。

ドルベース・財務報告ベースでは、自社たばこ製品売上収益、調整後営業利益は、それぞれ前年同期比11.0%の増収、13.4%の増益となりました。

事業投資は前年より強化しておりますが、費用の執行が下期に集中していることから、上期は高めの利益成長率となっております。

なお、円ベースの実績は、円高のネガティブな影響を受けたものの、自社たばこ製品売上収益は7.4%の増収、調整後営業利益は9.8%の増益となりました。

国内たばこ事業の実績については、Reduced-Risk Products (RRP) \*\*市場の拡大の影響を受け、紙巻総需要は前年同期比14.5%の減少、JT紙巻販売数量は前年同期比13.8%の減少となりましたが、年度当初の想定ほどは縮小しておりません。

紙巻シェアについては、「メビウス」等の堅調なパフォーマンスにより、JTブランドトータルでは前年同期比0.5%ポイント増の61.5%となりました。

また、「ブルーム・テック」については、2018年6月から全国の一部たばこ販売店、7月からは全国のコンビニエンスストアで販売を開始しております。上期のRRP販売数量は紙巻たばこに換算して8億本となりました。

自社たばこ製品売上収益および調整後営業利益は、紙巻販売数量の減少をRRP関連売上収益の増加が一部相殺し、それぞれ前年同期比7.5%の減収、13.7%の減益となりました。なお、上期のRRP関連売上収益は212億円となりました。

医薬事業では、導出品の販売拡大に伴うロイヤリティ収入の増加、および子会社である鳥居薬品の売上が薬価改定の影響を受けつつも好調に推移したことから、前年同期比12.7%の増収、26.7%の増益となりました。

加工食品事業については、売上収益は、ステープル商品および調味料の販売伸長を、その他の商品の販売減少が相殺して前年同期比0.5%の減収、調整後営業利益は原材料費の高騰等により前年同期比34.1%の減益となりました。

## 2018年度 修正見込

売上収益については、ドンスコイ・タバック (DT) 社買収およびプライシング効果の発現による海外たばこ

事業の上方修正に加え、国内たばこ事業での紙巻販売数量の上方修正による影響が、為替レート前提の見直しに伴うネガティブな影響を上回り、前年度比4.7%の増収を見込んでいます。

売上収益は上方修正しますが、国内たばこ事業におけるRRPへの投資や、海外たばこ事業におけるDT社基盤強化のための投資、イランの不透明な情勢を考慮したリスクの織り込み等により、全社利益指標である「為替一定ベース調整後営業利益」は、当初見込からの変更はなく、前年度比3.7%の成長を目指してまいります。

財務報告ベースの調整後営業利益については、為替レート前提の見直しにより、前年度比同水準となる0.1%の増益を見込んでおります。

なお、2018年の1株当たり年間配当金については、強固な財務基盤を維持しつつ、安定的・継続的な配当金成長を目指すという方針のもと、10円増配となる150円を予定しており、中間配当金は75円をお支払いする予定です。

- \* JTグループのブランドポートフォリオの中核を担う「ウィンストン」「キャメル」「メビウス」「LD」の4ブランドをグローバル・フラッグシップ・ブランド(GFB)としております
- \*\* RRPは、E-Vapor(電子たばこ)製品および加熱式たばこ製品等、喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品を指しております。当社が日本で発売している加熱式たばこ製品は、たばこ葉を使用し、たばこ葉を燃焼させずに、加熱等によって発生するたばこペーパー(たばこ葉由来の成分を含む蒸気)を愉しむ製品です

## 2018年度 第2四半期決算 全社実績

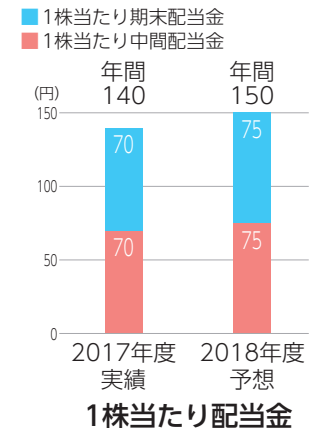
	2017年1-6月	2018年1-6月	対前年同期増減率
<b>為替一定ベース</b>			
調整後営業利益*1	3,147	3,243	+3.1%
<b>財務報告ベース</b>			
売上収益	10,453	10,753	+2.9%
調整後営業利益*1	3,147	3,178	+1.0%
営業利益	3,133	3,023	-3.5%
四半期利益/当期利益*2	2,256	2,161	-4.2%

\*1 調整後営業利益=営業利益+買収に伴い生じた無形資産にかかる償却費+調整項目(収益および費用)  
\*調整項目(収益および費用)= のれんの減損損失+リストラックチャリング収益および費用等

\*2 親会社の所有者に帰属する四半期利益/当期利益

## 2018年度 全社見込

(単位: 億円)			
2018年度当初見込	修正見込	対当初見込増減	対前年度増減率
6,070	6,070	-	+3.7%
22,200	22,400	+200	+4.7%
6,000	5,860	-140	+0.1%
5,610	5,410	-200	-3.6%
3,940	3,770	-170	-3.9%



# 海外たばこ事業

## ✓今期のポイント

- インドネシア・エチオピア・フィリピンにおける買収効果により、総販売数量は増加
- 主要市場でのシェア伸長等により、GFB販売数量は堅調
- 単価上昇効果により、為替一定ベースの調整後営業利益は増益

### 業績サマリー

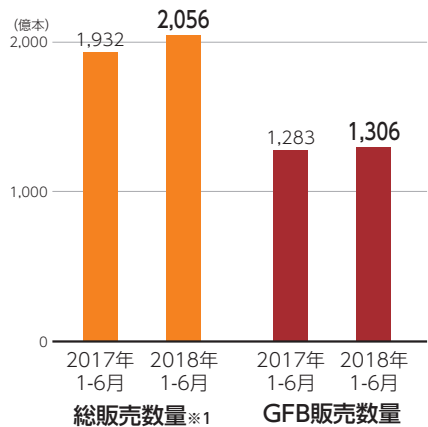
総販売数量 <b>2,056</b> 億本 前年同期比 +124億本↑ +6.4%↑	自社たばこ製品売上収益 為替一定ベース/ドルベース <b>5,598</b> 百万ドル 前年同期比 +457百万ドル↑ +8.9%↑
GFB販売数量 <b>1,306</b> 億本 前年同期比 +24億本↑ +1.8%↑	調整後営業利益 為替一定ベース/ドルベース <b>1,968</b> 百万ドル 前年同期比 +230百万ドル↑ +13.2%↑

### 主要市場シェア (12か月移動平均)

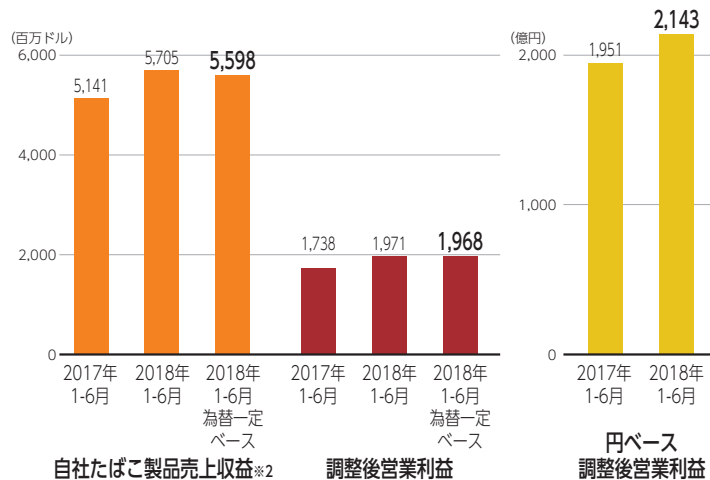
	2017年 6月	2018年 6月	増減%pt
フランス	22.1%	22.5%	+0.4%pt
イタリア	23.4%	23.2%	-0.2%pt
ロシア	32.5%	33.6%	+1.2%pt
スペイン	23.4%	24.4%	+1.0%pt
台湾	41.0%	41.7%	+0.6%pt
トルコ	29.0%	28.1%	-1.0%pt
英国	41.1%	40.7%	-0.4%pt

小数点第一位未満を四捨五入して表示しております  
 Source : IRI, Nielsen, Logista  
 出典元の過去データ修正も反映しております

### 販売数量実績



### 財務実績



※1 水たばこ/RRP/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretekを含む

※2 物流事業、製造受託等を除き、水たばこ、RRPの売上を含む

# 国内たばこ事業

## ✓今期のポイント

- RRP市場拡大により紙巻販売数量は減少するも、当初想定よりも緩やかな減少
- 「メビウス」等の堅調なパフォーマンスにより、JTシェアは前年同期比上昇
- 紙巻販売数量の減少をRRP関連売上収益が一部相殺するも減収・減益

### 業績サマリー

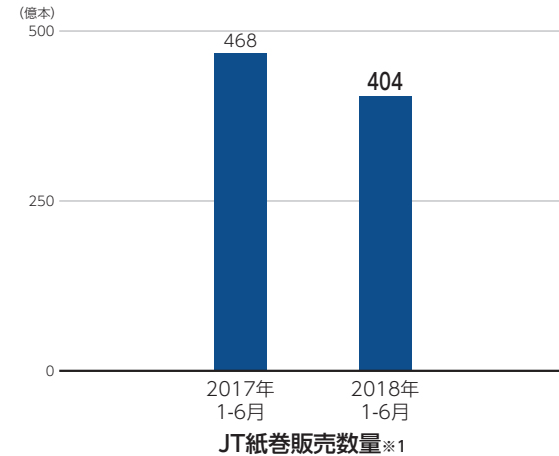
JT紙巻販売数量 <b>404</b> 億本 前年同期比 -64億本↓ -13.8%↓
自社たばこ製品売上収益 <b>2,722</b> 億円 前年同期比 -222億円↓ -7.5%↓
調整後営業利益 <b>1,035</b> 億円 前年同期比 -165億円↓ -13.7%↓

### JT紙巻シェア/注カブランドシェア

	2017年 1-6月	2018年 1-6月	増減%pt
JT	61.0%	61.5%	+0.5%pt
MEVIUS	31.1%	31.5%	+0.4%pt
Winston	8.1%	8.0%	-0.1%pt
SevenStars	7.6%	7.9%	+0.3%pt
AMERICAN SPIRIT	1.8%	2.0%	+0.2%pt

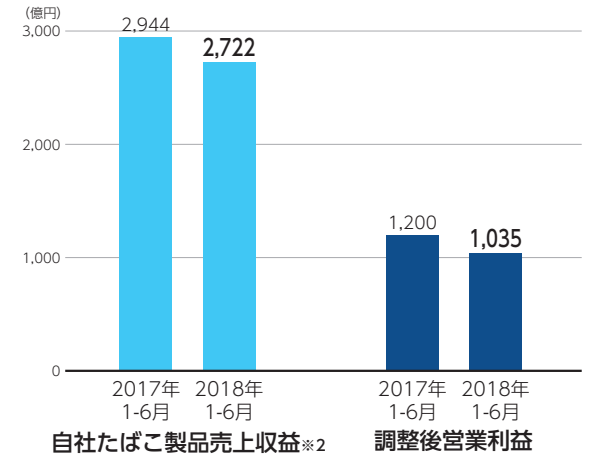
小数点第一位未満を四捨五入して表示しております

### 販売数量実績



※1 国内免税販売/中国事業/RRPを含まない

### 財務実績



※2 輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/RRP関連の売上を含む

# 2018年度 第2四半期連結財務諸表

(注) 記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

## 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	2017年 12月末	2018年 6月末	増減金額
資産			
流動資産	1,707,767	1,664,018	△43,749
非流動資産	3,513,717	3,332,040	△181,677
有形固定資産	745,607	728,439	△17,168
のれん	1,891,210	1,786,747	△104,463
無形資産	479,175	433,917	△45,257
投資不動産	16,700	15,911	△789
退職給付にかかる資産	51,377	54,916	3,540
持分法で会計処理されている投資	81,253	72,199	△9,054
その他の金融資産	114,970	113,290	△1,680
繰延税金資産	133,425	126,621	△6,804
資産合計	5,221,484	4,996,058	△225,426

(単位：百万円)

科目	2017年 12月末	2018年 6月末	増減金額
負債および資本			
負債			
流動負債	1,478,623	1,373,904	△104,719
非流動負債	900,833	870,711	△30,122
負債合計	2,379,456	2,244,615	△134,841
資本			
親会社の所有者に帰属する持分	2,761,687	2,680,900	△80,787
資本金	100,000	100,000	—
資本剰余金	736,400	736,400	—
自己株式	△443,636	△442,996	639
その他の資本の構成要素	△167,338	△337,614	△170,276
利益剰余金	2,536,262	2,625,111	88,849
非支配持分	80,340	70,542	△9,798
資本合計	2,842,027	2,751,442	△90,585
負債および資本合計	5,221,484	4,996,058	△225,426

## 将来に関する記述等についてのご注意

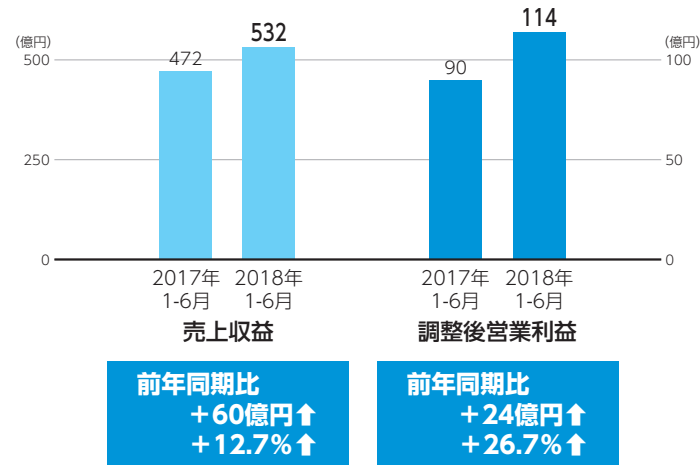
本資料には、当社または当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象または条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- ① 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- ② たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティングおよび使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制および政府による調査の影響等
- ③ 国内外の訴訟の動向
- ④ 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- ⑤ 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- ⑥ 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化および需要の減少
- ⑦ 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- ⑧ 国内外の経済状況
- ⑨ 為替変動および原材料費の変動
- ⑩ 自然災害および不測の事態等

## 医薬事業

✓ **今期のポイント** ● 導出品販売好調によるロイヤリティ収入増加、子会社の販売好調により、増収・増益

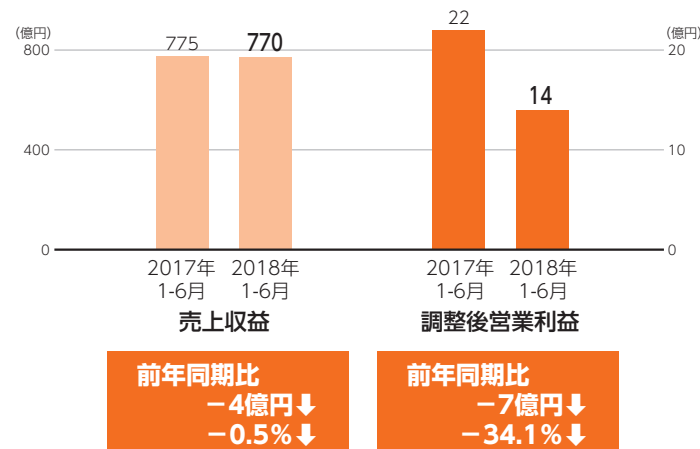
### 財務実績



## 加工食品事業

✓ **今期のポイント** ● 売上収益は前年同期比同水準、原材料費の高騰等により減益

### 財務実績



## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	2017年 1-6月	2018年 1-6月	増減金額
売上収益	1,045,330	1,075,271	29,940
売上原価	△410,511	△443,511	△33,000
売上総利益	634,819	631,760	△3,059
その他の営業収益	32,268	18,775	△13,493
持分法による投資利益	3,484	2,947	△537
販売費および一般管理費等	△357,286	△351,152	6,134
調整後営業利益※	314,659	317,812	3,153
営業利益	313,285	302,330	△10,955
金融収益	2,921	2,976	54
金融費用	△13,294	△14,939	△1,646
税引前四半期利益	302,913	290,367	△12,546
法人所得税費用	△75,591	△72,807	2,784
四半期利益	227,322	217,560	△9,762
四半期利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する四半期利益	225,635	216,093	△9,542
非支配持分に帰属する四半期利益	1,687	1,468	△220
四半期利益	227,322	217,560	△9,762

※調整後営業利益＝営業利益＋買収に伴い生じた無形資産にかかる償却費＋調整項目(収益および費用)\*

\*調整項目(収益および費用)＝のれんの減損損失±リストラクチャリング収益および費用等

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	2017年 1-6月	2018年 1-6月	増減金額
四半期利益	227,322	217,560	△9,762
税引後その他の包括利益	41,412	△172,649	△214,061
四半期包括利益	268,734	44,911	△223,823
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する四半期包括利益	267,027	44,005	△223,023
非支配持分に帰属する四半期包括利益	1,707	907	△800
四半期包括利益	268,734	44,911	△223,823

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	2017年 1-6月	2018年 1-6月	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,485	229,158	188,673
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,555	△60,815	△8,260
財務活動によるキャッシュ・フロー	△123,643	△208,915	△85,272
現金および現金同等物の増減額(減少)	△135,714	△40,573	95,141
現金および現金同等物の期首残高	294,157	285,486	△8,670
現金および現金同等物にかかる為替変動による影響	2,038	△7,561	△9,599
現金および現金同等物の四半期末残高	160,481	237,353	76,872

## JT NEWS

プルーム・テック

### 2018年7月 Ploom TECH、全国で販売開始

発売以来ご好評いただいている「プルーム・テック」の販売エリアが拡大し、日本全国で販売を開始しました。「プルーム・テック」スターターキットと専用たばこカプセル「メビウス・フォー・プルーム・テック」5銘柄が6月4日より全国の一部たばこ販売店およびPloomオンラインショップにて、また7月2日より全国のコンビニエンスストア等でも販売されています。

これに伴い、「プルーム・テック」スターターキットをリニューアル。同梱されていたキャリーケースが別売りとなり、税込希望小売価格を4,000円から

3,000円に。また「プルーム・テック」は、たばこ葉を燃やさず、高温で加熱もしない、JT独自の“低温加熱方式”を採用していることをよりわかりやすくお伝えするために、青を基調としたパッケージデザインに変更しました。

さらに、8月下旬よりたばこカプセルのメンソールタイプ3銘柄をリニューアル。9月上旬からはメンソールタイプの新商品「メビウス・ミックス・グリーン・クーラー・フォー・プルーム・テック」を発売します。



メビウス・ブラウン・アロマ・フォー・プルーム・テック  
(レギュラータイプ)

カフェモカフレーバーのほろ苦さと濃厚な甘み。ふわりと広がる豊かな香り

メビウス・レッド・クーラー・フォー・プルーム・テック  
(メンソールタイプ)

アップルミントフレーバーの優しい香り立ちに、ほのかな甘みと酸味。広がる清涼感

メビウス・パープル・クーラー・フォー・プルーム・テック  
(メンソールタイプ)

ベリーミントフレーバーの華やかな香り立ちに、爽やかな甘みと酸味。広がる清涼感

メビウス・レギュラー・フォー・プルーム・テック  
(レギュラータイプ)

たばこ本来の味わい。深みのある香り立ちと、スムーズな吸い心地

メビウス・メンソール・フォー・プルーム・テック  
(メンソールタイプ)

ストレートなメンソールの味わい。澄みきった香り立ちとシャープな清涼感

メビウス・ミックス・グリーン・クーラー・フォー・プルーム・テック  
(メンソールタイプ) **NEW**

和梨と洋梨のミックスフレーバー。芳醇かつ爽やかな絶妙なバランスの甘み。広がる清涼感

「プルーム・テック」スターターキット

【内容物】 バッテリー、USBチャージャー、ACアダプター

※このページは株主の皆様へに事業を説明する目的で作成されたものです。お客様へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません

加工食品新商品

JTグループ商品のご紹介

9月1日発売のテーブルマークグループ新商品からピックアップしてご紹介します。

麺屋武蔵監修  
魚介豚骨チャーシュー麺

1食入/268g レンジ調理 鍋調理

■人気ラーメン店とコラボ！  
本格的な中華麺をご家庭で



担当者コメント テーブルマーク(株) M&S本部 商品開発部 浅野 嵐

「麺屋武蔵」監修による本格的な具付きラーメンです。もっちりした太麺によく絡む魚介と豚骨の旨みが効いた二刀流スープに、釜炊きの豚バラチャーシューがたっぷり3枚入り。人気店の味がご家庭で気軽に楽しめます。



炙り焼肉ライスバーガー

1個入/156g レンジ調理

■直火で炙り焼きした牛肉に醤油ベースの特製甘辛タレを絡め、表面はカリッと、中はふっくら仕上げたライスバンズでサンドしました。おやつにも食事にもピッタリの商品です。



わたしの一膳ごはん 3食

150g×3食 レンジ調理 熱湯調理

■コンパクトサイズで持ち運びにも便利なパックごはんが新登場。いつでもどこでも炊きたてのごはんが味わえます。ランチタイムを楽しむ7種のパッケージも魅力。国産米を使用しています。

工場見学会開催のご報告

日程 2018年6月7日(木)、6月8日(金) 場所 JT北関東工場(栃木県宇都宮市) 人数 35名(1日あたり、定員)

2018年6月7～8日、「JT北関東工場」にて株主様向けの工場見学会を開催しました。2,000名を超えるご応募から抽選によりご当選された株主様ならびにご同伴者様にご参加いただき、好評のうちに終了いたしました。

当社グループ事業をより一層ご理解いただくとともに、株主の皆様とコミュニケーションを深めるための機会として、今後も工場見学会を企画・実施してまいります。

1日の流れ



ご参加いただいた皆様の声



現場で5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)が実践されており、安全や製品の品質に対するこだわりが強く感じられた。



皆さんとても感じが良く、各セクションで丁寧に説明していただき、わかりやすかったです。



かなり効率的にラインが動いていることが分かりました。



工程の多くが機械化され、人ではできないスピードで製品がつけられているのに、最後の品質確認は人が行っているのはすごいと思う。



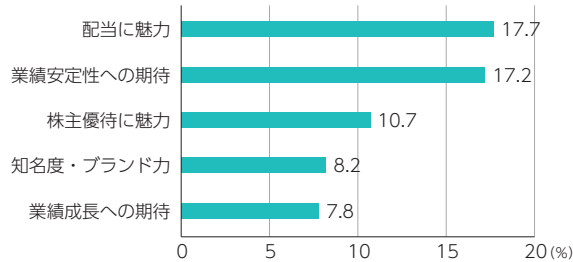
会社に対する理解が深まりました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

## 株主様アンケート結果のご報告

先般実施いたしました株主様アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。お寄せいただいた回答の中から株式保有方針および業績報告書に関する結果についてご報告いたします。

### 第33回定時株主総会招集ご通知に同封のアンケート(6万人の株主様よりご回答)

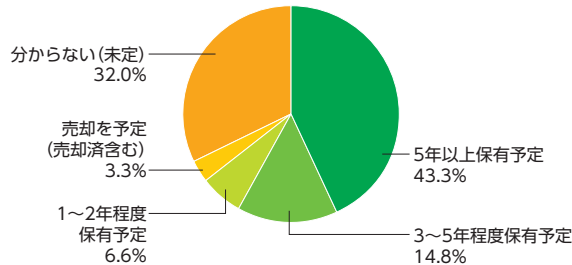
当社株式を保有した理由は何ですか？(上位5項目)



●当社グループの「配当に魅力」ならびに「業績安定性への期待」が当社株式保有の理由として約35%を占めており、多くのご回答をいただきました。

株主様のご期待にお応えすべく、中長期に亘る持続的な利益成長を目指してまいるとともに、1株当たり配当金の安定的・継続的な成長を引き続き目指してまいります。また、株主優待や工場見学会といった取り組みの内容を都度検討するとともに、有用な情報をご提供できるように努めてまいります。

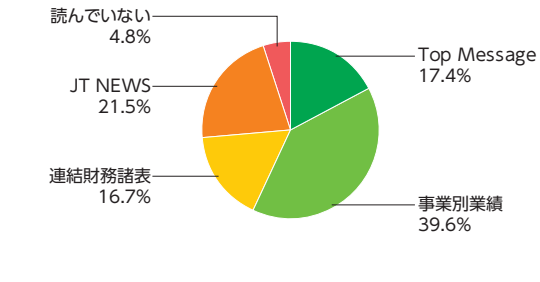
当社株式保有について今後どのようにお考えですか？



●当社株式を「5年以上保有予定」とご回答の方が40%以上を占めており、多くのご回答をいただきました。

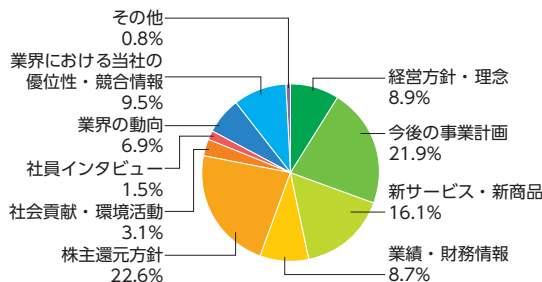
### 第33回定時株主総会決議ご通知に同封のアンケート(2万人の株主様よりご回答)

「業績報告書」について、興味を持ってご覧いただいた記事は？(複数回答可)



●「事業別実績」がもっとも高く、そのほかは分散した結果となりました。  
●「コンパクトにまとめられていてわかりやすい」「新商品情報を楽しみにしている」等の意見を頂戴いたしました。

今後「業績報告書」に掲載してほしい、または充実してほしいコンテンツは？(複数回答可)



●「株主還元方針」、「今後の事業計画」、「新サービス・新商品」に多くの声が寄せられました。  
●たばこ事業に限らず全般的に、今後の事業計画や成長戦略を詳しく知りたいという意見を頂戴いたしました。

業績報告書に関するご意見のほか、当社グループへの期待・激励の声を多数頂戴いたしました。今回お寄せいただいたご意見を参考に、今後の業績報告書では、株主様の当社グループへの理解を一層深めていただくべく、内容を充実させてまいります。

## 株主優待における寄付について

2017年12月31日現在の株主様を対象とした株主優待において、優待商品の贈呈に代えて、その相当金額を「東日本大震災及び熊本地震の復興支援に対する寄付」としてお選びいただける選択肢をご用意したところ、3,041名の株主様にご選択いただきました。

その合計金額5,477,000円を、2018年6月29日に社会福祉法人 中央共同募金会「赤い羽根『災害ボランティア・NPO活動サポート募金2』及び『災害ボランティア・NPO活動サポート募金・九州』」を通じて、寄付いたしました。

ご協力いただきました株主の皆様には、厚く御礼を申し上げます。



社会福祉法人  
中央共同募金会とは

全国47都道府県共同募金会の連合体で赤い羽根をシンボルとする共同募金運動の全国的な企画、啓発宣伝、調査研究、都道府県共同募金会の支援等を行っています。

また、全国的な視野により活用される寄付金や2つ以上の都道府県で活用される寄付金の受け入れ及び調整や民間助成資金・公益信託などの取り扱いを通して民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。

## 株主優待商品の発送について

JTでは、当社グループ商品のご利用を通じて株主の皆様当社グループ事業をより一層ご理解いただきたいの思いから、株主優待制度を実施しております。

2018年6月30日現在、当社株式100株以上保有で、お申し込み期限(8月30日)までにお申し込みいただいた株主様につきましては、ご希望の優待商品を9月下旬より、期限までにお申し込みいただけなかった株主様につきましては、コースごとに当社指定の商品を10月中旬より、順次贈呈させていただきます。

また、株主優待のお申し込み期限(8月30日)までに「株主様ご優待申込書」にてご送付をご希望された株主様のみ、JTカレンダーを11月下旬~12月上旬にお届けいたします。

優待商品・JTカレンダーにつきましては、2018年6月30日現在の株主名簿にご登録のご住所にお届けいたしますので、住所変更手続きがまだお済みでない場合、また今後住所に変更がある場合は、証券会社様でお手続きいただくとともに、下記の「JT株主優待事務局」までご連絡いただけますようお願いいたします。

株主優待に関する  
お問い合わせ

**JT株主優待事務局 ☎0120-791-187**

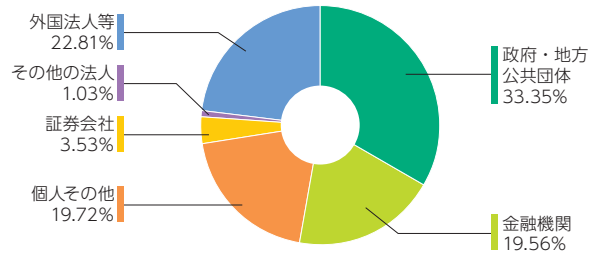
事務代行：三菱UFJ信託銀行(株) 受付時間/平日9:00~17:00 土・日・祝日・年末年始(12/30~1/4)を除く

## 会社概要

商号 日本たばこ産業株式会社 設立 1985年(昭和60年)4月1日  
 本社所在地 〒105-8422 資本金 1,000億円  
 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号 JTビル  
 TEL.(03)3582-3111(代表)  
 FAX.(03)5572-1441  
<https://www.jti.co.jp/>

## 株式の状況 2018年6月30日現在

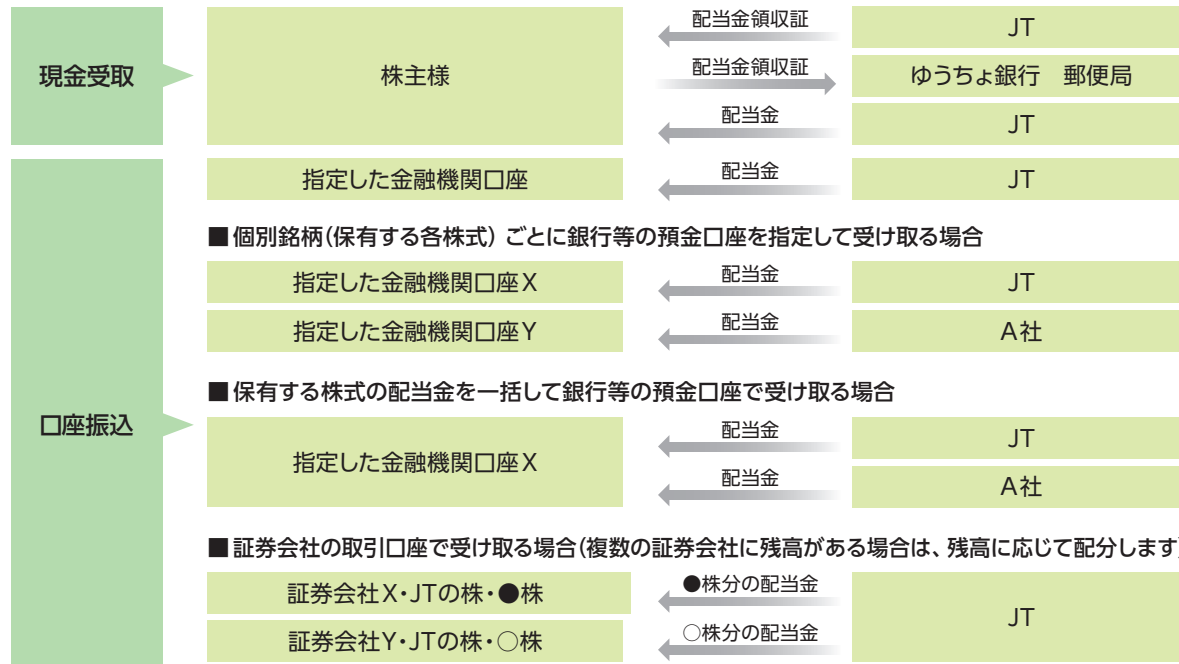
### 所有者別構成比



発行可能株式総数 8,000,000,000株  
 発行済株式の総数 2,000,000,000株  
 (自己株式 208,655,402株)  
 株主数 317,652名

## 配当金のお受け取り方法

口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます



※特別口座をご利用の株主様はご利用できません

## 株主メモ

決算期 12月31日 定時株主総会 3月

期末配当金支払株主確定日 12月31日 中間配当金支払株主確定日 6月30日 1単元の株式数 100株

公告の方法 電子公告  
 当社ホームページ (<https://www.jti.co.jp/>) に掲載  
 ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人・特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
**■事務取扱場所**  
 東京都千代田区丸の内1-4-5  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

**■お問い合わせ先**  
 東京都府中市日鋼町1-1  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 ☎0120-232-711 (平日9:00~17:00)

**■郵便物送付先**  
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## 株式の諸手続きについて

### 証券会社でお取引をされている株主様

【お手続き、ご照会内容】

- 届出住所・氏名などのご変更
- 配当金の受取方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・売渡(買増)請求
- 証券会社にて株式を管理されている株主様のマイナンバーのお届け出※

など

口座を開設している証券会社

- 郵便物の発送/返戻に関すること
- 支払期間経過後の配当金
- 書類が届かない/配当金領収証の紛失等のトラブル

など

三菱UFJ信託銀行株式会社

### 特別口座をご利用の株主様

【すべてのお手続き、ご照会、お問い合わせ】

- 届出住所・氏名などのご変更
- 配当金の受取方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・売渡(買増)請求
- 郵便物の発送/返戻に関すること
- 支払期間経過後の配当金
- 証券会社とのお取引がない株主様のマイナンバーのお届け出※
- その他、株式事務に関する一般的なお問い合わせ

など

### お問い合わせ先

東京都府中市日鋼町1-1  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 ☎0120-232-711(平日9:00~17:00)

### 郵便物送付先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

※市区町村から通知されたマイナンバーは株式の税務関係の手続きで必要となりますので、株主様におかれましては、お取引のある証券会社等へマイナンバーをお届けください